

「アルコール関連問題への処方箋」

～三重県の連携医療から学ぶ～

一般病院、救急医療現場での実践より



日時 平成24年6月16日(土)18時～20時

場所 大阪コロナホテル(新大阪駅東口より徒歩2分)

参加費 無料 定員150名(申込先着順)

～プログラム～

講演1

猪野亜朗 かすみがうらクリニック副院長 精神科医

「アルコール関連問題への介入と連携医療 精神科医の立場から」

講演2

片岡千都子 市立四日市病院 医療ソーシャルワーカー

「アルコール関連問題への介入と連携医療 ソーシャルワーカーの立場から」

アルコール依存症者は全国で80万人、予備軍を含めると400万人とも言われています。しかしほとんどの方はアルコール依存症の診断さえ受けず、一般病院や救急医療機関を受診しており、医療スタッフが対応に苦慮する場面も少なくないはずです。「連携医療」は、このようなアルコール関連問題への有効な対策です。

三重県では、猪野亜朗氏らが中心となって立ち上げた「三重県アルコール関連疾患研究会」の活動により、全国に先駆けて内科と精神科の連携に取り組み、アルコール関連問題の早期発見早期治療に成果を上げてきた地域です。三重県アルコール関連疾患研究会は平成22年度第62回保健文化賞を受賞し、その地域ネットワークは近年、救命救急部門や地域の保健福祉関係機関にまで広がり「三重モデル」として注目を集めています。

申し込み方法

別紙申し込み用紙をご利用し、FAXにてお申し込み下さい

申し込み期限：平成24年6月9日(土)

申込先：関西アルコール関連問題学会事務局

新生会病院 担当 渡辺 佐々木

〒594-1154 大阪府和泉市松尾寺町113

TEL: 072-553-1222 FAX: 072-553-1227

